

この会の名称が、“自治KEN”に決定！

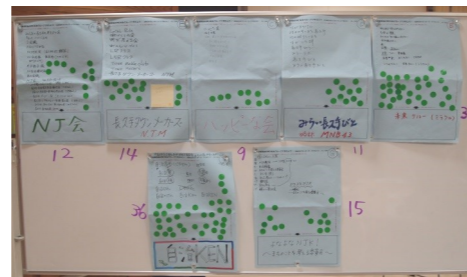
前回に出た7つの名称アイデアから、(仮称)長久手市自治基本条例検討委員会の名称が“自治KEN”に決定しました。今後は、“自治KEN”として、この取組の発信していきます！



名称が決まるまで

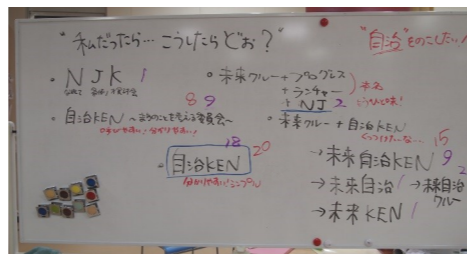
STEP1— 1人3票を持って、シール投票！

「自治KEN」(36票)と「未来クルー(ミラクル)」(31票)が圧倒的
上位に…。でも、他の案も捨てがたい…。



STEP2— 結果を踏まえて、全体で話し合おう！

アイデアを組み合わせたり、新たにワードを追加したりして、新しい
名称も考えてみよう！いい名称のポイントとは…？



(会の目的が)
わかりやすい！

呼びやすい！

“自治”を
入れたい！

STEP3— 最終的に、次の3案の多数決で、自治KENに決定！！

- | | |
|----------------------|-----|
| ①自治KEN | 20票 |
| ②未来自治KEN | 15票 |
| ③自治KEN～まちのことを考える委員会～ | 8票 |

自治KENの ロゴマーク完成！



ねねパパ(葛谷さん)が、素敵なロゴマークを作成してくださいました！

アンケートより

《共通してる！》

- みんな思う事は同じだなと思いました。
- つながりが課題ということが共通なんだなと思いました。

《コミュニケーション》

- 世代の違う人とブレインストーミングしたことによって、色々な考え方があったなと思いました。
- みんなの意見をまとめることの難しさ
- やわらかい雰囲気になることで、どんどん活発な意見が出てくることにおどろきました。

《その他》

- また、少し発酵した感じ。
- ひとつの事がらで良い点と悪い点と両方があり、見方によって違うことを気づかされました。
- 長久手のつながりの弱さは、多くの人が認識しているということ。一方、若いまちで未来があるということ。
- 社会の教科書によくでてきていた「地方自治は民主主義の学校である」を思い出しました。今日の進行や雰囲気作り、とても素晴らしくて興味深かったです。
- 一人一人が意見を出しあえて新鮮。

次回の自治KEN

2016. 10. 31(月)

19:00～21:30

西小校区共生ステーション

条例制定に向けた各種地域づくり団体アンケート結果、地域自治に関する取組状況を踏まえ、自治基本条例の必要性、それぞれの立場から条例の意義・役割について考えます！

作成／長久手市市長公室 経営企画課
発行日／平成28年10月31日
問合せ／経営企画課(企画係)0561-56-0600



2016. 10. 17(月)

19:00～21:40 参加者44名
西小校区共生ステーション

長久手市において、「地域のことを地域で考え地域で実践する」自治の取組が活発になることを目指し、市民と職員が一緒になって、まちづくりの基本的なルールとなる(仮称)自治基本条例の具体的な検討を始めました。

第2回目となる今回は、本検討委員会の名称決めと、「長久手ってどんなまち？」をテーマに、まちの「いいところ」「いやなところ」を出し合い、それを踏まえて、長久手の将来像を描き、みんなで共有しました。

プログラム

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 19:00 | はじめに |
| 19:05 | 前回のふりかえり |
| 19:10 | この会の名称は…？ |
| 19:45 | ときほぐし |
| 20:20 | グループワーク
「長久手ってどんなまち？」 |
| 21:00 | 休憩 |
| 21:10 | グループワーク
「こんなまちになったらいいな！」 |
| 21:25 | 発表・ふりかえりとまとめ |
| 21:35 | おわりに |

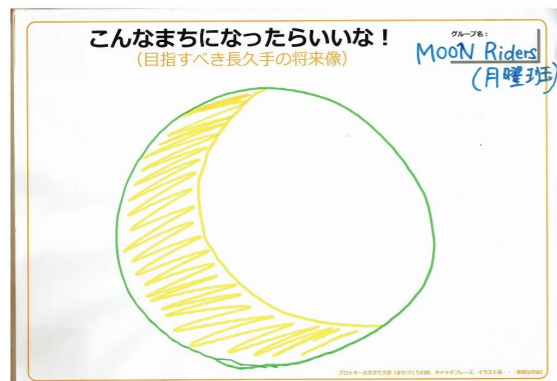
グループワーク「長久手ってどんなまち？」

7つのグループに分かれ、それぞれが感じる、長久手の「いいところ」「いやなところ」について出し合い、共有しました。そして、それらを踏まえて、「こんなまちになったらいいな！」と、長久手の将来像を描きました。

ここが
スキ！

ここが
イヤかも

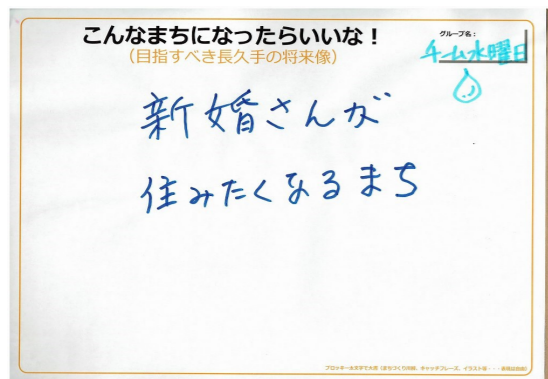
月曜日(Moon Riders)



これからは、「いいところ」を増やし、「いやなところ」を少なくしていかなければいけません。三日月を満月にしていくために、欠けている部分を満たすのは市民、議会、市長、市役所のみなのです。



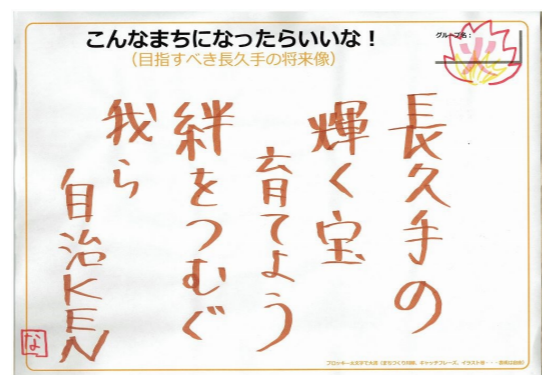
水曜日



子育てしやすい、出生率が高い、財政的に豊かなセレブな街。反面、つながりが弱いために、犯罪率や災害リスクが高いと考えられます。世代間の温度差もあるので、それを解消していきたいです。



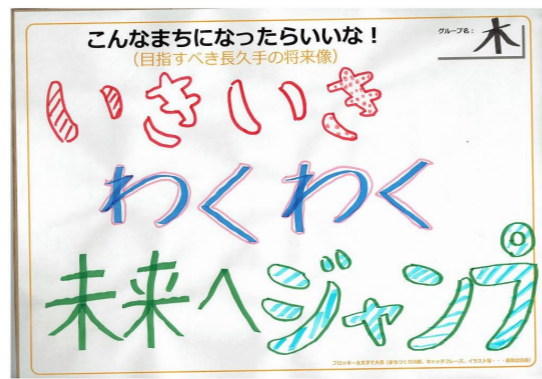
火曜日



若い街、成長し続けるというプラスの面と、近所のつながりの薄さ、防災意識の低さ、自治会加入率の低下といったマイナス面があります。これから、若い力をどう活かしていくかが課題です。



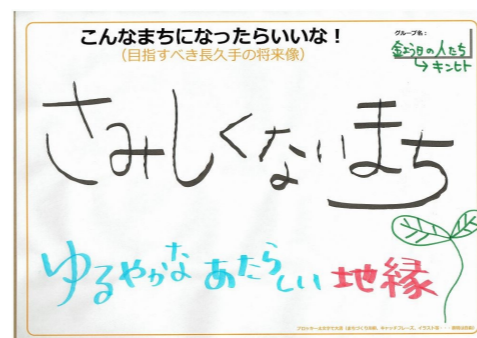
木曜日



よいところは、自然、リコモなど最新のもの、子どもがいっぱいなところ！だから、未来の笑顔がいっぱいです。しかし、渋滞が多い等よくない点もあるし、つながりをもっと大切にしなければいけないと感じます。



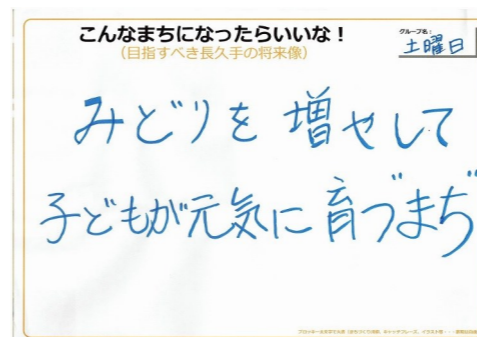
金曜日(金曜日の人たち)



まちの特徴をまとめると、一番若いぞ！・明るいきれいな街・まちとみどりの共生・いい人一杯・歴女もおいで〜♪・病院から墓場まで・楽しい役所・いじわるばーさんとかみなりオヤジの消失、となりました。つながりを消失させたのは私たちです。わずらわしいつながりがイヤでイヤで消失させたということ、受け止めていかなくてはなりません。



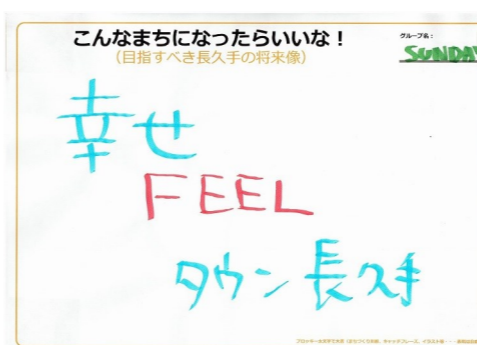
土曜日



「長久手のサスペンス劇場」をテーマにまちの特徴を考えました。消えた若者・大学生が多いはずの街なのに、なぜか見ない。子どもが多いはずなのに、なぜか子ども会が減っていく。なぜだろう？みんなで考えましょう。増殖するみどりー今、少しずつみどりが増えています。これからもさらに増やしていきたいです。



日曜日(SUNDAY)



若者が多いことが特徴だけれども、犯罪が多い。やる気が空回っている部分があると感じました。これを、「やる気故の過ち」と表現しました。飲食店が多く、イオンやイケアができる一方、商店街がなかったり、消防団員が少なかったりします。「まつり」のあとが心配です。



まとめ

自治基本条例は、「こうなったらいいな！」と思うまちにするための「手段」として定める、基本的なルールです。条例に、まちの将来像を細かく定めるものではないですが、条例にどんな内容を盛り込んでいくかを考えるにあたって、まちのいいところ、いやなところを確認し、まちの将来像を描き、共有するという本日の話し合いは、とても大切なプロセスでした。

